

誘導施策の進捗状況について

(体系表の詳細については、資料3-2を参照)

本プランでは、「都市機能及び人口密度を維持・確保するための誘導施策」を実施することとしており、プランの着実な推進を図るため、国の示す「コンパクトシティの形成に関する支援策」の8分野を参考に、庁内各課の事業を「本プランに直接位置づけた施策・事業」と「関連事業（本プランに直接位置づけていないが、連携することで相乗効果が期待される事業）」に分類し、進捗状況の把握を行うこととしている。

1. 事業の実施状況の概況

令和2年10月に庁内に照会した結果、「本プランに直接位置づけた施策・事業」と「関連事業」の8分野ごとの事業数、令和2年度拡充事業数及び元年度までに完了した事業数を整理すると、右の表のとおりとなった。（※「拡充事業」とは、令和2年度予算で拡充となった事業である。）

(1) 本プランに直接位置づけた施策・事業（※具体的実施状況は「参考資料2」参照。）

○37事業のうち、3事業が完了し、残りの34事業について、引き続き、取り組むこととしている。

○また、34事業のうち、「鹿児島中央駅周辺一体的まちづくり推進事業」や「市道バリアフリー推進事業」については、今年度拡充して取り組むこととしている。

(2) 関連事業（※具体的実施状況は「参考資料3」参照。）

○51事業のうち、3事業が完了し、残りの48事業について、引き続き、取り組むこととしている。

○また、48事業のうち、「街なかりノベーション推進事業」や「地域包括支援センター運営事業」などの8事業については、今年度拡充して取り組むこととしている。

2. 本プランに直接位置づけた施策・事業の進捗状況（R元年度の評価）

昨年度から、「本プランに直接位置づけた施策・事業」の進捗状況を「A：計画（予定）どおり実施できた。」「B：一部計画（予定）どおり実施できた。」「C：計画（予定）どおり実施できなかった。」の3段階で、各事業課により評価を行うこととしている。

○37事業のうち、令和元年度より前に完了した2事業を除く、35事業のうち、8割の28事業で「A：計画（予定）どおり実施できた。」との評価であり、「本プランに直接位置づけた施策・事業」については、順調に取組が進んでいると考えられる。

○一方、新型コロナウイルスなどの影響により、計画どおりに実施できなかった事業もあり、昨年度と比べると「A：計画（予定）どおり実施できた。」事業が少なくなっている。

| No | 分野 | 本プランに直接位置づけた施策・事業 | | | | | | 関連事業 | | |
|---------------|------------------------|---|-----------|-------------------------|-------------|-------------|-----------------|-------------|---|----|
| | | 事業数 | | R元年度評価※ (評価した事業数：35) | | | 事業数 | | | |
| | | R元年 まで 完了 | R2年 拡充 | A (計画どおり) | B (一部実施) | C (実施なし) | R元年 まで 完了 | R2年 拡充 | | |
| 1 | 都市再生・ 中心市街地 活性化 | 21 | 2 | 1 | 16 | 2 | 2 | 9 | 0 | 2 |
| 2 | 健康・医療・ 福祉、 子育て支援 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 19 (新規2) | 2 | 5 |
| 3 | 公共施設再編 | 9 | 0 | 1 | 8 | 0 | 1 | — | — | — |
| 4 | 住宅政策 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 5 | 学校・教育 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 | 1 | 0 |
| 6 | 都市農業等 | — | — | — | — | — | — | 5 | 0 | 1 |
| 7 | 防災 | — | — | — | — | — | — | 8 | 0 | 0 |
| 小計 | | 37 | 3 | 2 | 28 (80%) | 4 (11%) | 3 (9%) | 51 | 3 | 8 |
| (参考) 昨年度実績 | | 37 | 2 | 2 | 31 (91%) | 2 (6%) | 1 (3%) | 49 | 1 | 12 |
| 8 | 地域公共交通 | ・プラン記載の「公共交通に関する施策・事業」が該当するが、『鹿児島市公共交通ビジョン』の推進事業と同一であるため、進捗管理は、「鹿児島市公共交通ビジョン推進会議」で行う。⇒「参考資料5」参照 | | | | | | | | |

※R元年度評価区分 「A：計画（予定）どおり実施できた。」 「B：一部計画（予定）どおり実施できた。」
「C：計画（予定）どおり実施できなかった。」

3. 今後の取組

○上記の施策等を推進することにより、最終的に人口密度の維持につながることを考えながら、今後も、関係課と連携し、誘導施策に取り組むとともにその進捗把握に努めていく。

○また、本プランのさらなる推進を図るため、各事業の実施要件に居住誘導区域や都市機能誘導区域内であることを要件として盛り込むなど、様々な連携手法について関係課と協力しながら、検討していく。